

A-9. トイレ

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「トイレで用を足す時に、不自由さを感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、52.1%であった。カッパ係数は、0.151と低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、71.4%であった。福祉職員の回答をみると、「ある」という回答が多く、53.8%であった。

高齢者本人と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちのおよそ4分の3が福祉職員回答と一致していた。また、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの半数近くが福祉職員回答と一致していた。

トイレ (N=119、カッパ係数=0.151、 $p < .05$ 、単純一致数の割合=52.1%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	39 32.8%	5 4.2%	41 34.5%	85 71.4%
	どちらとも いえない	3 2.5%			3 2.5%
	ある	7 5.9%	1 0.8%	23 19.3%	31 26.1%
合計		49 41.2%	6 5.0%	64 53.8%	119 100.0%

A-10. 洗濯

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「衣類の洗濯について、何か困ると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、56.2%であった。カッパ係数は0.045とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、89.3%であった。また、福祉職員の回答においても「ない」という回答が多く、57.0%であった。

高齢者本人と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの6割近くが福祉職員回答と一致していた。また、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちの半数が福祉職員回答と一致していた。

洗濯 (N=121、カッパ係数=0.045、n.s.、単純一致数の割合=56.2%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	63 52.1%	5 4.1%	40 33.1%	108 89.3%
	どちらとも いえない	3 2.5%			3 2.5%
	ある	3 2.5%	2 1.7%	5 4.1%	10 8.3%
合計		69 57.0%	7 5.8%	45 37.2%	121 100.0%

A-11. 日用品の買い物

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「日用品や食料品といった、生活に必要なものの買い物について、何か困ると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、44.6%であった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、77.7%であった。福祉職員の回答をみると、「ある」という回答が多く、52.9%であった。

高齢者本人と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちの6割近くが福祉職員回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ半数が福祉職員回答で「ある」ととらえられていた。

日用品の買い物 (N=121、カッパ係数=***、単純一致数の割合=44.6%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	38 31.4%	8 6.6%	48 39.7%	94 77.7%
	ある	10 8.3%	1 0.8%	16 13.2%	27 22.3%
合計		48 39.7%	9 7.4%	64 52.9%	121 100.0%

A-12. 部屋のそうじ

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「部屋のそうじについて、何か困ると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は54.5%であった。カッパ係数は、0.0とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、83.5%であった。また、福祉職員の回答においても「ない」という回答が多く、59.5%であった。

高齢者本人と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの6割近くが福祉職員回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちのおよそ6割が福祉職員回答で「ない」ととらえられていた。

部屋のそうじ (N=121、カッパ係数=0.0、n.s.、単純一致数の割合=54.5%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	60 49.6%	7 5.8%	34 28.1%	101 83.5%
	どちらとも いえない	1 0.8%	1 0.8%		2 1.7%
	ある	11 9.1%	2 1.7%	5 4.1%	18 14.9%
合計		72 59.5%	10 8.3%	45 32.2%	121 100.0%

A-13. 部屋の清潔

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「部屋がきたなくて、困ると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は61.2%であった。カッパ係数は、0.0とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、86.0%であった。また、福祉職員の回答においても「ない」という回答が多く、70.2%であった。

高齢者本人と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの7割近くが福祉職員回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちの4分の3が福祉職員回答で「ない」ととらえられていた。

部屋の清潔 (N=121、カッパ係数=0.0、n.s.、単純一致数の割合=61.2%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	72 59.5%	15 12.4%	17 14.0%	104 86.0%
	どちらとも いえない	4 3.3%		1 0.8%	5 4.1%
	ある	9 7.4%	1 0.8%	2 1.7%	12 9.9%
合計		85 70.2%	16 13.2%	20 16.5%	121 100.0%

A-14. 段 差

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「あなたの住んでいる建物のなかに、じゃまな段差があって、困ると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、51.2%であった。カッパ係数は、0.020とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、86.8%であった。また、福祉職員の回答においても「ない」という回答が多く、53.7%であった。

高齢者本人と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの半数あまりが福祉職員回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちの半数あまりが福祉職員回答で「ない」ととらえられていた。

段差 (N=121、カッパ係数=0.020、n.s.、単純一致数の割合=51.2%)

		福 祉 職 員 回 答			合 計
		な い	どちらとも いえ ない	あ る	
高 齢 者 回 答	な い	56 46.3%	13 10.7%	36 29.8%	105 86.8%
	どちらとも いえ ない	3 2.5%	1 0.8%	1 0.8%	5 4.1%
	あ る	6 5.0%		5 4.1%	11 9.1%
合 計		65 53.7%	14 11.6%	42 34.7%	121 100.0%

A-15. におい

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「ふだんの生活のなかで、いやなおいがして、困ると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、53.7%であった。カッパ係数は、0.024とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、76.9%であった。また、福祉職員の回答においても「ない」という回答が多く、60.3%であった。

高齢者本人と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ6割が福祉職員回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちのおよそ6割が福祉職員回答で「ない」ととらえられていた。

におい (N=121、カッパ係数=0.024、n. s.、単純一致数の割合=53.7%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	55 45.5%	15 12.4%	23 19.0%	93 76.9%
	どちらとも いえない	1 0.8%			1 0.8%
	ある	17 14.0%		10 8.3%	27 22.3%
合計		73 60.3%	15 12.4%	33 27.3%	121 100.0%

A-16. 室温

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「あなたの住んでいる部屋が、寒かったり暑かったりして、困ると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、52.9%であった。カッパ係数は、0.056とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、77.7%であった。また、福祉職員の回答においても「ない」という回答が多く、54.5%であった。

高齢者本人と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの6割近くが福祉職員回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちの4割以上が福祉職員回答で「ない」ととらえられていた。

室温 (N=121、カッパ係数=0.056、n.s.、単純一致数の割合=52.9%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	54 44.6%	6 5.0%	34 28.1%	94 77.7%
	どちらとも いえない	1 0.8%		2 1.7%	3 2.5%
	ある	11 9.1%	3 2.5%	10 8.3%	24 19.8%
合計		66 54.5%	9 7.4%	46 38.0%	121 100.0%

A-17. 騒音

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「ふだんの生活のなかで、うるさくて困ると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、55.4%であった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、76.0%であった。また、福祉職員の回答においても「ない」という回答が多く、46.3%であった。

高齢者本人と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちのおよそ6割が福祉職員回答と一致していた。また、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ半数が福祉職員回答と一致していた。

騒音 (N=121、カッパ係数=***、単純一致数の割合=55.4%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	49 40.5%	11 9.1%	32 26.4%	92 76.0%
	ある	7 5.8%	4 3.3%	18 14.9%	29 24.0%
合計		56 46.3%	15 12.4%	50 41.3%	121 100.0%

A-18. 口にあった食事

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「食事が自分の口にあっていなくて、困ると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、52.1%であった。カッパ係数は、0.231であった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、52.9%であった。福祉職員の回答をみると、「ある」という回答が多く、48.8%であった。

高齢者本人と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちのおよそ3分の2が福祉職員回答と一致していた。また、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの4割以上が福祉職員回答と一致していた。

口にあった食事 (N=121、カッパ係数=0.231、 $p < .001$ 、単純一致数の割合=52.1%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	29 24.0%	11 9.1%	24 19.8%	64 52.9%
	どちらとも いえない	4 3.3%	3 2.5%	4 3.3%	11 9.1%
	ある	7 5.8%	8 6.6%	31 25.6%	46 38.0%
合計		40 33.1%	22 18.2%	59 48.8%	121 100.0%

A-19. 栄 養

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「栄養がかたよって、困ると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、66.1%であった。カッパ係数は、0.089とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、80.2%であった。また、福祉職員の回答においても「ない」という回答が多く、75.2%であった。

高齢者本人と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ4分の3が福祉職員回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちのおよそ3分の2が福祉職員回答で「ない」ととらえられていた。

栄養 (N=121、カッパ係数=0.089、n.s.、単純一致数の割合=66.1%)

		福 祉 職 員 回 答			合 計
		な い	どちらとも いえない	あ る	
高 齢 者 回 答	な い	75 62.0%	12 9.9%	10 8.3%	97 80.2%
	どちらとも いえない	6 5.0%	1 0.8%	2 1.7%	9 7.4%
	あ る	10 8.3%	1 0.8%	4 3.3%	15 12.4%
合 計		91 75.2%	14 11.6%	16 13.2%	121 100.0%

A-20. 食事の楽しさ

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「楽しく食事がとれていると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、44.6%であった。カッパ係数は、0.154と低かった。

高齢者の回答をみると、「ある」という回答が多く、66.1%であった。また、福祉職員の回答においても「ある」という回答が多く、36.4%であった。

高齢者本人と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちの4割以上が福祉職員回答と一致していた。また、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの4割以上が福祉職員回答と一致していた。

食事の楽しさ (N=121、カッパ係数=0.154、 $p < .01$ 、単純一致数の割合=44.6%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	12 9.9%	9 7.4%	6 5.0%	27 22.3%
	どちらとも いえない	6 5.0%	6 5.0%	2 1.7%	14 11.6%
	ある	17 14.0%	27 22.3%	38 29.8%	80 66.1%
合計		35 28.9%	42 34.7%	44 36.4%	121 100.0%

A-21. 財産管理

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「あなたが所有されている財産の管理について、困ると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、44.5%であった。カッパ係数は、0.001とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、88.2%であった。また、福祉職員の回答をみると、「ない」という回答が多く、47.1%であった。

高齢者本人と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちおよそ3割が福祉職員の回答と一致していた。高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ5割弱が福祉職員回答と一致していた。

財産管理 (N=119、カッパ係数=0.001、n.s.、単純一致数の割合=44.5%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	49 41.2%	33 27.7%	23 19.3%	105 88.2%
	どちらとも いえない	1 0.8%	1 0.8%	2 1.7%	4 3.4%
	ある	6 5.0%	1 0.8%	3 2.5%	10 8.4%
合計		56 47.1%	35 29.4%	28 23.5%	119 100.0%

A-22. 必要なお金の量

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「ふだんの生活をしていくうえで、お金が足りなくて、困ると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、63.9%であった。カッパ係数は、0.178であった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、89.1%であった。また、福祉職員の回答をみると、「ない」という回答が多く、60.5%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちのおよそ6割が福祉職員の回答と一致していた。高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの6割強が福祉職員回答と一致していた。

必要なお金の量 (N=119、カッパ係数=0.178、 $p < .001$ 、単純一致数の割合=63.9%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	69 58.0%	21 17.6%	16 13.4%	106 89.1%
	どちらとも いえない	1 0.8%	1 0.8%	1 0.8%	3 2.5%
	ある	2 1.7%	2 1.7%	6 5.0%	10 8.4%
合計		72 60.5%	24 20.2%	23 19.3%	119 100.0%

A-23. 預貯金の出し入れ

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「銀行預金や郵便貯金の出し入れについて、困ると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、54.5%であった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、92.6%であった。また、福祉職員の回答をみると「ない」という回答が多く51.2%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちおよそ6割強が福祉職員の回答と一致していた。高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ5割強が福祉職員回答と一致していた。

預貯金の出し入れ (N=121、カッパ係数=***、単純一致数の割合=54.5%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	60 49.6%	20 16.5%	32 26.4%	112 92.6%
	ある	2 1.7%	1 0.8%	6 5.0%	9 7.4%
合計		62 51.2%	21 17.4%	38 31.4%	121 100.0%

A-24. 尊 厳

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「あなたは、自分が大切にされていない、と感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、33.1%であった。カッパ係数は、0.0であった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、71.1%であった。また、福祉職員の回答をみると、「ある」という回答と「ない」という回答がほぼ同数であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちのおよそ3分の1が福祉職員の回答と一致していた。高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ3分の1が福祉職員回答と一致していた。

尊厳 (N=121、カッパ係数=0.0、n. s.、単純一致数の割合=33.1%)

		福 祉 職 員 回 答			合 計
		な い	どちらとも いえ ない	あ る	
高 齢 者 回 答	な い	29 24.0%	30 24.8%	27 22.3%	86 71.1%
	どちらとも いえ ない	4 3.3%	3 2.5%	5 4.1%	12 9.9%
	あ る	8 6.6%	7 5.8%	8 6.6%	23 19.0%
合 計		41 33.9%	40 33.1%	40 33.1%	121 100.0%

A-25. 自己決定

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「ふだんの生活のなかで、自分で決めたいことが決められない、と感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、52.9%であった。カッパ係数は、0.092とかなり低かった。高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、72.7%であった。また、福祉職員の回答をみると、「ない」という回答が多く、54.5%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちのおよそ4割強が福祉職員回答で「ない」と答えられていた。高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ6割が福祉職員回答と一致していた。

自己決定 (N=121、カッパ係数=0.092、n. s.、単純一致数の割合=52.9%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	52 43.0%	10 8.3%	26 21.5%	88 72.7%
	どちらとも いえない	1 0.8%		4 3.3%	5 4.1%
	ある	13 10.7%	3 2.5%	12 9.9%	28 23.1%
合計		66 54.5%	13 10.7%	42 34.7%	121 100.0%

A-26. 希望の実現

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「ふだんの生活のなかで、自分がやりたいと思うことを、やらせてもらえていない、と感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、49.6%であった。カッパ係数は、0.092とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、80.2%であった。また、福祉職員の回答をみると「ない」という回答が多く、48.8%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちのほぼ半数が福祉職員回答と一致していた。高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ5割が福祉職員回答と一致していた。

希望の実現 (N=121、カッパ係数=0.092、n. s.、単純一致数の割合=49.6%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	49 40.5%	13 10.7%	35 28.9%	97 80.2%
	どちらとも いえない	5 4.1%	4 3.3%	1 0.8%	10 8.3%
	ある	5 4.1%	2 1.7%	7 5.8%	14 11.6%
合計		59 48.8%	19 15.7%	43 35.5%	121 100.0%

A-27. さみしさ

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「さみしいと感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、44.2%であった。カッパ係数は、0.0であった。

高齢者の回答をみると、「ある」という回答と「ない」という回答が同数であった。また、福祉職員の回答をみると「ある」という回答が多く、71.7%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちのおよそ7割が福祉職員の回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ4分の3が福祉職員回答で「ある」ととらえられていた。

さみしさ (N=120、カッパ係数=0.0、n. s.、単純一致数の割合=44.2%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	12 10.0%	3 2.5%	44 36.7%	59 49.2%
	どちらとも いえない	1 0.8%		1 0.8%	2 1.7%
	ある	11 9.2%	7 5.8%	41 34.2%	59 49.2%
合計		24 20.0%	10 8.3%	86 71.7%	120 100.0%

A-28. 不 安

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「何か不安な気持ちになることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、33.1%であった。カッパ係数は、0.0であった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、66.9%であった。また、福祉職員の回答についてみてみると「ある」という回答が多く、78.5%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちおよそ8割が福祉職員の回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの8割弱は福祉職員回答で「ある」ととらえられていた。

不安 (N=121、カッパ係数=0.0、n. s.、単純一致数の割合=33.1%)

		福 祉 職 員 回 答			合 計
		な い	どちらとも いえない	あ る	
高 齢 者 回 答	な い	10 8.3%	8 6.6%	63 52.1%	81 66.9%
	どちらとも いえない			2 1.7%	2 1.7%
	あ る	6 5.0%	2 1.7%	30 24.8%	38 31.4%
合 計		16 13.2%	10 8.3%	95 78.5%	121 100.0%